

問一						問二						問三						問四					
a		b		c		d		A		B													
無尽蔵		絶（えず）		大雑把		寄与		音形		言語													
各2点																							
1		2		3		4		5		6													

4点  
問二

4点

10点

10点

【例】音は、どの言語であっても単位が共通しているため、他の言語の研究に利用できるのに対して、文字は個々の言語のあり方が違うため、すべての文字に共通の単位はないという違い。（82字）

【採点基準】

以下の内容を捉えて説明していること。

- ◇音
  - ・音には、言語に影響されない共通の単位がある。
  - ・言語単位としての音を習得してしまえば、すべての言語の研究に利用できる。
- ◇文字
  - ・すべての文字に共通な単位というものは考えられない。
  - ・文字が個々の言語のあり方に大きく依存している。

【例】アルファベット形式の文字では、文字と言語構造との関係が把握しづらいが、表語文字である漢字においては、構成原理や使用法がその他の文字にも適用され、他の文字の研究にも役立つ広い基盤を持ち、一般的な原理として認められたから。（109字）

【採点基準】

以下の内容を捉えて説明していること。

- ◇漢字以外の文字との比較
  - ・アルファベット形式の文字では、文字と言語構造との関係が把握しづらい
  - ・欧米の言語学では、文字と言語構造との関係という要素が欠けていた
  - ・漢字の特徴
  - ・漢字が表語文字であること。
- ◇漢字を通して文字論が成立したこと
  - ・漢字で得られた認識がその他の文字にも適用され、その分類法が他の文字の研究にも役立つ広い基盤を持ち、一般的な原理として認められた。

受験校種	中	教科科目	国語	試験区分	M	受験番号						
------	---	------	----	------	---	------	--	--	--	--	--	--

問四	8点	問三	10点	問二	10点	問一			
						d	c	b	a
ウ	90	●「疲れ果てた」「投げやりになった」といった内容は不可。 ○「女性」「恋愛」に対しての憧れが強くなってきたことについて記述している。 ○「水兵への憧れ」や「水兵帽を手に入れた喜び」を感じていたことについて記述している。 ○「文章全体の内容を把握したうえで、水兵帽が「それほど惜しく思わなかった」理由が明らかになるように、以下の点について捉える。 【採点基準】	<p>(例1) 大きくなったら水兵になろうと決心していた彼にとつて水兵帽は憧れの象徴であり、手に入れたことはこの上ない喜びであったが、今は水兵への憧れよりも恋愛の方に気持ちが向いてきているから。(八十九字)</p> <p>(例2) 法界節の女と出会ったことを通して、女性への魅力を感じ始め、恋愛に対する思いが強くなり、水兵になることへの憧れや水兵帽を手に入れた喜びが小さくなってしまったから。(八十文字)</p>	<p>(例1) 法界節の女のことばかり考えていたため、弟のことを全く気にかけていることもなく歩いてきてしまい、申し訳ない気持ち。(五十四字)</p> <p>(例2) 自分が女に夢中になって、法界節の一行にどこまでもついて行ってしまい、弟を連れまわしたことの情けない気持ち。(五十四字)</p> <p>【採点基準】</p> <p>※「今更に」の内容が明らかになるように、以下の点について捉える。</p> <p>○「女に夢中になってしまったこと」、「法界節の一行にどこまでもついて行ったこと」について、記述している。</p> <p>○「弟に対して申し訳ない気持ち」や「弟を気にかけてあげることが出来きず情けない気持ち」といったことについて、記述している。</p>	鈍(い)	両膝	貧相	煙突	
									各2点
15	14	13	12	11	10	9			

受験校種	中	教科科目	国語	試験区分	M	受験番号				
------	---	------	----	------	---	------	--	--	--	--

	8点		8点		8点		6点	6点	
問五	問四			問三			問二	問一	
ア	<p>【採点基準】</p> <p>・「大臣が和歌の達人であるため、つまらない歌を詠んだらまずいことになり、高貴な大臣が歌を詠むことを求め中納言に和歌を詠むことを求めているのに応じないのも都合が悪いこと」について書くこと。</p>			<p>【採点基準】</p> <p>・「中納言に桜が咲く庭を見せたいと思っていた」とことと、「中納言に見せたいと思っていたときにちょうど中納言がやってきたこと」という内容を書くこと。</p>			大臣（左大臣も可）	ウ	
20	70	60	19	50	18	17	16		

受験校種	中	教科科目	国語	試験区分	M	受験番号						
------	---	------	----	------	---	------	--	--	--	--	--	--

7点	問五	問四		問三	問二	問一
	<p>【採点基準】                  ≪情景≫梅の疎林の中を鶴が枝の下をくぐらずに、高い姿勢のまま歩いていくこと。                  ≪感動≫鶴の気品（品格・気高さ・美しさ）に対する感動を伝えている。                  ※「一例」を踏まえ、情景と感動を結び付けている（疎林と鶴の「対比」）</p>	<p>E</p> <p>エ</p>	<p>D</p> <p>ア</p>	ウ <p>4点</p>	イ <p>4点</p>	エ <p>4点</p>
	26	25	24	23	22	21

各3点  
計6点

（六枚のうち四）

受験校種	中	教科科目	国語	試験区分	M	受験番号					
------	---	------	----	------	---	------	--	--	--	--	--

6点		5点×2			
問二		問一			
<p>【採点基準】 指導事項「思考力、判断力、表現力等」C(1)エ、並びに「知識及び技能」(3)オについて関連させて指導内容について書いていること。</p> <p>(例) ・過去の読書記録から一冊選んで、文章の構成や展開、表現の効果に着目した再読の活動を設定する。 ・同じ作者の異なる作品を紹介し、『少年の日の思い出』との共通点や相違点を考えながら読む活動を設定する。 ・学校図書館で小説などを選び、文章の構成や展開、表現の効果に着目して読む活動を設定する。</p>		段落2について		<p>【採点基準】 特徴と根拠となる描写はあるが、効果について記述していないことについて助言するように書いていること。</p>	
		段落3について			
29		28		27	

受験校種	中	教科科目	国語	試験区分	M	受験番号					
------	---	------	----	------	---	------	--	--	--	--	--

問四			問三						問二				問一				
③	②	①	⑥	⑤	④	③	②	①	④	③	②	①	⑤	④	③	②	①
ア	エ	ウ	チ	ソ	イ	キ	ク	コ	サ	イ	ウ	ケ	ケ	ソ	エ	サ	カ
各2点																	
47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30

(六枚のうち六)

受験校種	中	教科科目	国語	試験区分	M	受験番号							
------	---	------	----	------	---	------	--	--	--	--	--	--	--